

岩国市の農業振興

山田議員は、日本の食糧の六割を海外に依存し、BSE、鳥インフルエンザ、輸入野菜の農薬付着問題、食品の偽表示問題など食料の安全性が脅かされていることを述べると共に農家の高齢化等で、後継者は減少し、耕作放棄地の増加傾向にあると指摘しました。

岩国市は、「生産基盤等の充実」、「担い手の育成」、「農村環境の有効活用」等を実施するとしています。「休耕田の状況とその活用」、「後継者対策」、「地産地消の取り組み」の現状と今後の方針について質問を行いました。

「中産間地域等直接支払い制度」 継続を政府に求める

耕地は、平成七年約490ha、平成十二年には約383haに減少、休耕田は増加傾向にある。一鹿、南河内地区で市民農園を開設し、休耕田の解消に努めています。又、長野、麻生田地区の2箇所で移動放牧システム化推進事業を導入したと答えました。

又、山田議員は、来年度、政府が「中山間地域等直接支払い制度」の廃止を予定していること

を紹介し、岩国市として政府に制度の継続を求めるよう求めました。

市長は、政府に対して制度の継続を求めると答弁しました。



耕作放棄地に肉用牛の放牧（麻生田）

後継者対策

岩国市内の農業後継者は、平成七年4487人、平成十二年は3632人に減少しており、対策として、山口県、JA等関係機関と強調しながら（財）やまぐち農林振興公社の活用の推進や平成十五年鹿地区に「やまぐち型担い手組織」の導入し、推進していると答弁しました。

（注）「やまぐち型担い手組織」とは「集団営農」の考え方の下、グループと個人が協定を結び、双方が協力し合いながら農地を効率的、多角的に管理する組織）

地産地消

学校給食、朝市（4ヶ所）などの農林産物の直販所や岩国レンコンや赤大根等岩国の伝統野菜を対象にした特別コーナーを市内大型店（3店舗）に設置し、確実に促進拡大していると答弁しました。



にぎわう朝市(南河内)

市町村合併について考える

（その八）

「議員の定数および任期の取り扱い」について

六月三〇日から市内二十一地区二十三会場に住民説明会が行なわれています。説明会はこの会場も参加者が少なく、そうした中でも「新市建設計画」や「議員の身分」に関心があつまっています。

六月二日の法定協議会では、委員の投票で、「在任特例」を決定。既に周辺の六町村の議会は、「在任特例」を決議しています。

岩国市議会では、「在任特例（八人）」、「定数特例（十二人）」、「原則選挙（八人）」と拮抗しています。

市民会館で新市の街づくりについて質問があり、「新市建設特別委員会」の委員長である岩国市議会議長は「まったく議論していません」と述べる等の発言もあり、この地域説明会で市民の理解を得たとするのは如何なものでしょうか。

「在任特例」：旧市町村の議員は、合併後二年以内は新市の議員で在籍することが出来る。（岩国圏域一〇四人）

「定数特例」：議員の定数は上限数（三四名）の二倍の範囲内で定数を定め、合併時選挙する。

「原則選挙」：自治法の規定する上限（三四名）で、合併時選挙する。

イノシシ 四頭 取れました

昨年「農の資格」を取得した海士路地区のメンバーとイノシシ被害に悩む農家が結束し、今年組合を結成、檻罠を購入して、設置しました。

七月十六日までに罠でイノシシ四頭捕獲、解体して組合員にシシ肉を分配しています。



檻罠に2頭入った

今年も「狩猟免許」試験が岩国市内で実施されます。お問い合わせは

岩国市役所・農林課へ
電話 29-5113

山田やすゆき市政報告

日本共産党岩国市議会議員

海士路町2 55 7
31 2985

しん旗

お読みください
日刊 月2900円
日曜版 月800円



六日議会は六月四日から二十二日まで開会されました。

来年度より、岩国市役所の新庁舎の建設が始まります。新庁舎

に関わる諸問題として、駐車場の問題、新庁舎周辺の道路拡幅

更に新庁舎建設の財源について質問を行いました。

又、住宅団地の「暗きよ」の取り扱いと農業問題についての三

項目について質問を行ないました。その要旨を報告いたします。



新庁舎のイメージ

使用者用5台。現在の来庁者の駐車スペースの2倍を確保していると答弁しました。

山田議員は市町村合併による利用者増のことを考えると駐車スペースは狭い。再度、駐車スペースの拡大を求めました。

周辺の道路拡幅を求める

庁舎用地を挟んで東西にある市道拡幅について地元要請を組み入れるよう求めました。

駐車場の拡幅を求める

新庁舎の一般駐車場について、現在でも市民会館の利用者や来庁舎が多く大変狭い。もっと駐車台数を増やすべきだと質しました。

部長は一般駐車場200台、車椅子

幅は困難であると指摘し、地元要望を組み入れ、新庁舎建設にあわせて拡幅改良をするよう求めました。

建設財源を明確に

山田 現時点では示せない 市長

合併協議会において、市長は新庁舎の建設財源を補助金と基金で行なえるよう最大限の努力をすると答弁しているが、新庁舎

建設に必要な財源104億円の内、建設基金約18億円を差し引いた約86億円の補助金が防衛施設庁から得られるのか、その見通しを明らかにするよう求めました。

「現時点では補助額を示すことは出来ない。防衛施設庁に岩国市の財政状況等を説明し、相応の助成をお願いしている」と一年前と同じ答弁を繰り返しました。

山田議員は、来年度から建設に着工する計画になっているにもかかわらず、未だに補助金額が明らかにされないことは常識的には考えられないと指摘。一日も早く建設資金の内訳を明らかにするよう求めました。

住宅地の「暗きよ」の

取り扱いについて

昭和46年の「宅地造成等規制法」以前の宅地で、近年、雨水・家庭排水と「暗きよ」との因果関係は定かではないが、岩国市管理の道路で陥没等が起こり、

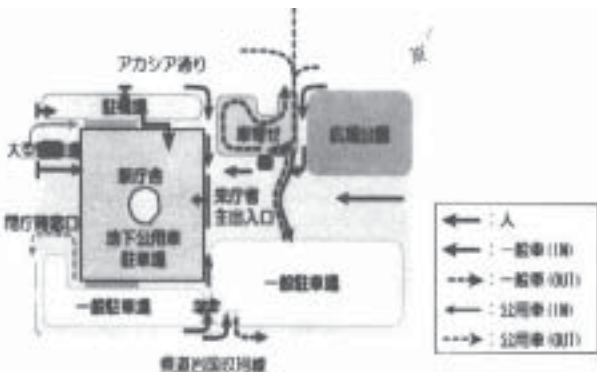
岩国市より関係住民に補修の一部負担を求める動きがあることを紹介し、このような排水施設

の維持管理はどこが行なうのかと質しました。

建設部長は、「現在の開発許可基準および各種基準に対応する施設であることが基本となる。しかし、それまで(昭和46年)に設置された施設について、どのような方法で施設の維持管理が可能か検討したい」と答弁しました。

山田議員は、住民に負担がかからないよう求めました。

(※「暗きよ」とは、道路側溝排水を流すために道路下に埋めてあるパイプ・ヒューム管)



参議院選挙では日本共産党へのご声援を頂きありがとうございました。引き続き、要求実現のため奮闘いたします。

04年参議院選挙岩国選挙区

比例代表			選挙区
01年参院	03年衆院	04年参院	吉田貞好
3.131	4.081	3.436	3.415